



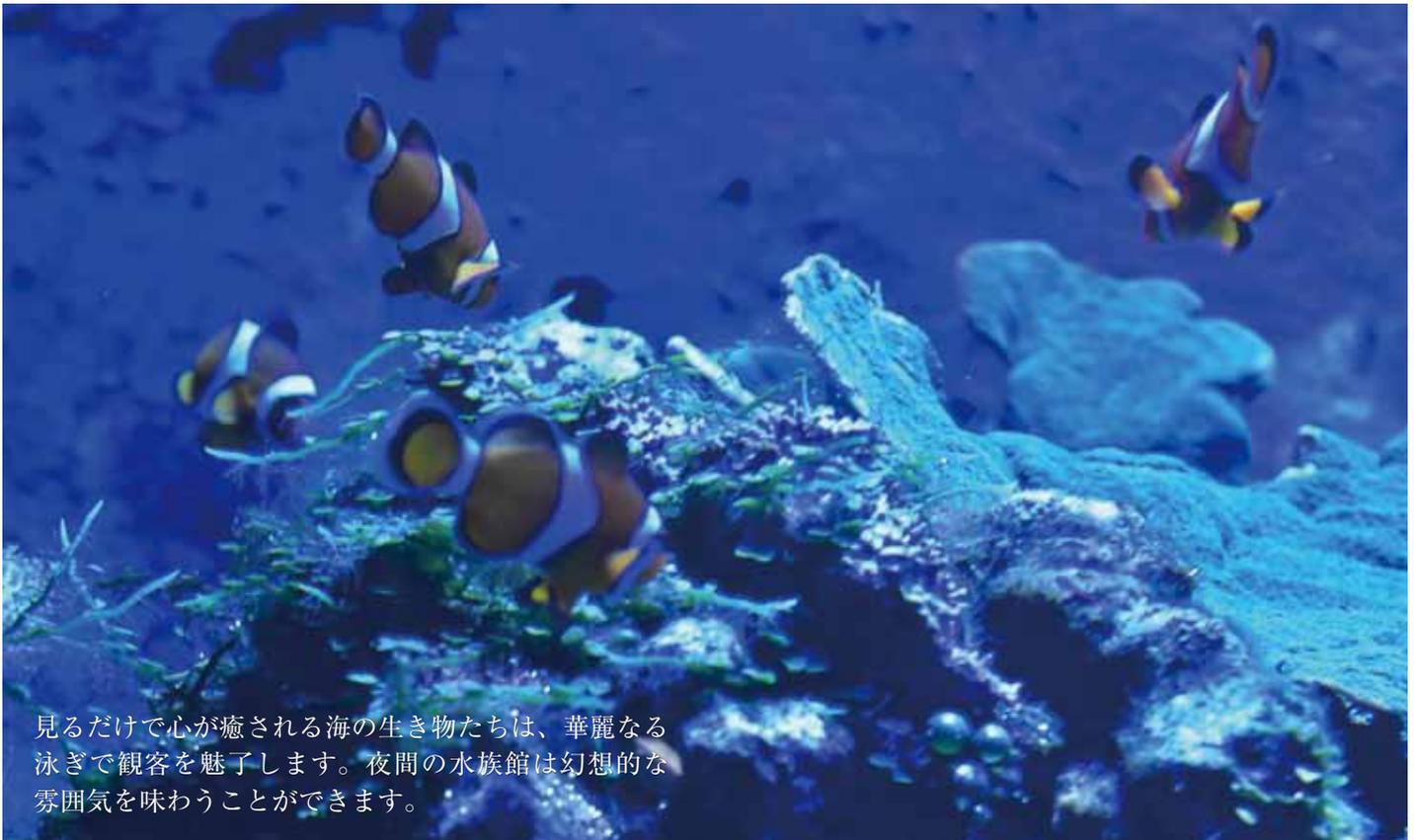
OITA MEDICAL CENTER

# 大分

61号

平成29年夏

大分市横田2丁目11番地45号  
独立行政法人 国立病院機構 **大分医療センター**  
編集発行 広報誌編集委員会  
大分医療センターホームページアドレス  
<http://nho-oita.jp/>



見るだけで心が癒される海の生き物たちは、華麗なる泳ぎで観客を魅了します。夜間の水族館は幻想的な雰囲気を楽しむことができます。

大分マリンパレス水族館「うみたまご」にて／撮影：経営企画室長 田辺 俊介

## 基本理念

OITA MEDICAL CENTER

最新の医療技術・知識の修得に励み  
病める人の立場に立ち  
人の尊厳・権利を尊重し  
「愛の心・手」で  
最良の医療サービスを提供します

## 基本方針

- ー 365日24時間断らない診療を目指します
- ー 大分県地域医療支援病院として、地域へ貢献します
- ー 大分県がん診療連携協力病院として、がん診療の充実に努めます
- ー 垣根を越えた連携によるチーム医療の充実に努めます
- ー 地域に根ざした積極的な広報活動と情報発信に努めます
- ー 安定した医療を提供するため、健全経営を志向します

## 目次

看護の日フェアを開催して .....	2	緩和ケア研修会を開催して .....	8
ふれあい看護体験を開催して .....	3	津久見樗の実少年少女合唱団 来院！ .....	9
初めての新人看護職員院外研修 .....	4	暑気払い！ in ビア・ガーデン .....	9
室 豊吉院長 退職記念祝賀会の開催 .....	5	大分県臨床研修病院合同説明会 2017 に参加しました .....	10
『第5回大分医療センター 市民セミナー』を開催して .....	6	編集後記 .....	10
ソーシャルワーカーデー IN 大分医療センター .....	7		

# 看護の日フェアーを開催して

4階病棟 佐藤 裕美

平成29年5月17(水) ナイチンゲール生誕記念日の看護週間に、昨年に引き続き看護の日フェアーを開催しました。当院の看護師が活躍していることを地域住民である外来患者さんや入院されている方にアピールする事が目的です。当院の外来ロビーで行いました。

看護の日フェアーでは、病棟など看護部各部署の紹介、笑顔の写真展、ミニコンサート、身体測定、看護・介護相談などを行いました。

今年が目玉として、4月より新院長に就任された穴井秀明院長先生より「看護の日にむけて」というタイトルでメッセージを頂きました。そこには当院の歴史や病院の特徴、最後には、看護の日にもう一度看護という言葉の意味を考えて欲しいと書かれています。模造紙一面に院長の写真と共に掲げています。当日は、外来患者さんなど多くの方が、院長先生のメッセージの前で足を止めて見て行かれました。

各部署の紹介では、模造紙1枚に病棟にどんな疾患の患者さんが入院しているか、大切にしている看護などスタッフの声をまとめたものです。模造紙にデコレーションを施し、何処の病棟も昨年以上に個性があふれた力作が揃っていました。病棟以外にも手術室、ほっとステーション、地域連携室など、どんな業務を行っているか、また専従看護師も紹介しています。

笑顔の写真展は、病棟で働く看護師が、笑顔で患者さんのお世話をしている姿や後輩看護師に指導している姿が映し出されていました。写真展を見た患者さんからも「笑顔が素敵」「この看護師さんはうちの病棟の看護師さんだ」等と言う声が聞こえてきました。

ミニコンサートでは、看護師による電子オルガン演奏を行いました。病棟の患者さんが足を止めて熱心に聴いてくださったのが印象的でした。

身体測定のコーナーでは、血圧測定、身長・体重測定、BMI、体脂肪測定を行いました。このコーナーでは、患者さんから質問されたことに丁寧に答えていきました。

今回は、2回目の開催でしたが、患者さんからの反応も好評でさらに嬉しい言葉を頂き、今後も開催していきたいと思えます。これからも地域の皆様に愛される病院を目指して職員一同頑張っていきたいと思えます。



# ふれあい看護体験を 開催して

教育担当看護師長  
山本 真由美

5月12日は看護の日です。看護の日の行事の一環で毎年高校生を受け入れて「ふれあい看護体験」を実施しています。今年度は5月17日に開催し、大分県立雄城台高校から16名の学生が参加してくれました。

病棟の看護師と共に患者様の手浴や洗髪を行ったり、患者体験としてバイタルサインを測ったり、車いす・ストレッチャーでの移送体験をしたりと色々な体験を行いました。実際に体験してみて「(ストレッチャーの)頭側から移動すると怖い」や「ストレッチャーは思った以上に狭く感じる」など多くの意見がありました。

各病棟の看護師は高校生に看護の魅力を伝えようと色々工夫し、一つひとつ丁寧に説明してくれていました。高校生にとって、年代の異なる患者様たちとお話するのも初めてで緊張すると共に、初めての体験に目を輝かせながら楽しんでいるようでした。

最後の意見交換会では、看護師長をはじめ、病棟看護師の看護観を伝える機会がありました。高校生たちは、看護の大変さを感じる一方でやりがいのある職業であると思ってくれたようです。多くの高校生が将来看護の道を目指してくれることを期待しています。



# 初めての新人看護職員院外研修

2階病棟副看護師長 高瀬 由香

看護部教育委員会では機構が目指してほしい看護師像そして研修生が目標とする看護師像に近づけられるよう年間を通して研修を企画しています。自ら学ぶ看護師の育成という点では、知識を与え続けるだけではなく精神面の支援もしていく必要があると考えています。そこで、入職して3か月経過し、夜勤にも入るようになり疲労が蓄積したり、それぞれ壁に当たっている時期にリフレッシュとともに、明日から頑張ろうという力につながれたらという思いで今年度初めて7月に院外研修を企画しました。

研修ではコミュニケーション能力やチームワークを高めるため、チーム対抗戦のゲームを取り入れながら、正確に伝達する方法やプライバシーに関わる質問をする際の注意点、相手チームに勝つための戦略（チームワークの促進）など考えてもらいました。また、自分の気持ちを表現し、ストレスへの気づきを高め、他者からの承認を受けることで心の負担を軽くする目的の研修では、気持ちの表出により気持ちに変化することに気づき、同時に同期の存在の大切さを感じたとの意見が多く、他者の意見から発想の転換方法やストレス解消方法を発見できたようでした。

矢野大和さんの口演は、生涯学習として人は死ぬまで学び続ける必要性や、人生の中の8割は自分の努力次第で解決できるものであり、解決できない2割を悔やむより努力できることに力を注ぎ、自らの手で自分自身を磨き幸せをつかむべきだと自己研鑽の大切さを学ぶことができました。林家はな平さんの落語は全員が初めてとなる貴重な経験となりました。

交流会では、参加してくれた方々との会話の中やスピーチから先輩方の看護観や仕事への向き合い方などたくさんのヒントをもらい、終始和やかな雰囲気でした。現環境への感謝の気持ちを表す発言も聞かれ、有意義な交流会となりました。

院外であること・私服であることが気持ちを開放し、気持ちの表出をする促進剤となり、リフレッシュと共に理想の看護師像に近づくために頑張ろうと奮起したようで、自ら学ぶ意欲へとつなぐことができた研修となりました。



# 室 豊吉院長 退職記念祝賀会の開催

管理課長 三宅修二

室 豊吉先生は平成 29 年 3 月末日をもって大分医療センターを退職されました。

先生のご退職にあたり、去る平成 29 年 5 月 27 日(土)、退職記念祝賀会がレンブラントホテル大分「二豊の間」にて盛大に行われました。NHO 病院を始め、大分大学、九州大学や地域医療連携病院の院長先生等 56 名を含め 108 名の方々にご出席をいただき、終始、温かく和やかな雰囲気の中で開催することができました。

祝賀会の式次第は次の通りです。

## 室 豊吉 院長 退職記念祝賀会式次第

司会 大分医療センター 副院長  
奈須伸吉

- |          |                   |       |
|----------|-------------------|-------|
| ・開会の辞    | 大分医療センター事務部長      | 姉川俊也  |
| ・名誉院長入場  | 大分医療センター名誉院長      | 室 夫 妻 |
| ・発起人代表挨拶 | 大分医療センター院長        | 穴井秀明  |
| ・祝 辞     | 大分大学医学部附属病院長      | 津村 弘  |
|          | 九州大学大学院消化器・総合外科教授 | 前原喜彦  |
|          | 国立病院機構別府医療センター院長  | 酒井浩徳  |
| ・記念品贈呈   | 大分医療センター院長        | 穴井秀明  |
| ・花束贈呈    | 大分医療センター看護部長      | 佐保美恵子 |
|          | 大分医療センター看護師長      | 安藤万寿美 |
| ・謝 辞     | 大分医療センター名誉院長      | 室 豊 吉 |
| ・祝電披露    |                   |       |
| ・乾 杯     | 九州大学大学院放射線科教授     | 本田 浩  |
| ・祝 宴     | ルミエール フルーツアンサンブル  |       |
| ・万歳三唱    | 大分県医師会会長          | 澤口博人  |
| ・名誉院長退場  | 大分医療センター名誉院長      | 室 夫 妻 |
| ・閉会の辞    | 大分医療センター事務部長      | 姉川俊也  |

室 先生には、今後ともますますのご活躍をお祈り申し上げますとともに、大所高所よりご指導およびご鞭撻を賜りますよう、よろしく願いいたします。

末筆となりましたが、今回の記念祝賀会にご協力頂きました皆様に心より御礼申し上げます。



# 『第5回大分医療センター 市民セミナー』を開催

医療社会事業専門職  
岡江晃児

平成29年6月10日（土）地域住民を対象に市民セミナーを当院で開催しました。今回で5回目の開催となり、テーマは『がんについてもっと知ろう!』とし、当日は多くの市民に参加して頂きました。講演では、奈須副院長が座長を行い、穴井院長より「当院におけるがん診療について」、廣田がん性疼痛看護認定看護師より「当院における緩和ケアの取り組みについて」、そして大分東医師会の三宅胃腸科内科クリニック院長の三宅先生による「胃がんについて」講演を頂きました。参加された方からは質問も頂き、がんに関して最新の情報を学び、自分と向き合っている様子が感じとれま

した。講演の他にも、今回新たな企画として、市民の方々に少しでも癒しの時間を与えられたらという想いで、プロのフルート演奏家によるミニコンサートを行いました。また毎回好評である看護師や検査技師による健康チェックや講演終了後に健康相談を行いました。

最後に、地域医療を支える病院として市民の方々に役立つ情報を今後も継続して発信していきたいと思えます。



院長挨拶



ミニコンサート



講演



座長 奈須副院長



穴井院長



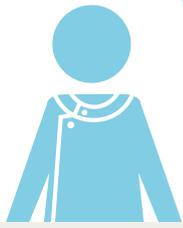
廣田がん性疼痛看護認定看護師



三宅胃腸科内科クリニック 三宅院長



健康チェック



# ソーシャルワーカーデー IN 大分医療センター

医療社会事業専門員  
大庭 江梨奈

ソーシャルワーカーってどんな仕事？特に病院で働くソーシャルワーカーについて講義、病院見学、模擬面接体験を通して知ってもらおうという企画で、今回で5回目となります。

超高齢社会の中、福祉系大学の進学希望者は減少傾向にあります。高校生に将来の仕事について夢を持ってもらおう、今後の進学の参考にしてほしいとの思いから、毎年学校が夏休みの間にソーシャルワーカーデー IN 大分医療センターと銘うって開催しているイベントです。今年は大分市内の進学校、13名の医療系に興味のある学生さんが参加してくださいました。

当院ソーシャルワーカー岡江よりソーシャルワーカーの仕事について講義があり、その後病院の中を案内しながら、各職場からソーシャルワーカーとの連携について説明がありました。日頃なかなか接することのできない様々な専門職に学生さんたちも興味津々でした。最後に模擬面接体験をしました。今回はグループワークを取り入れながらソーシャルワーカーの主な仕事の一つでもある面接を行いました。ソーシャルワーカーが患者役となり、学生さんがソーシャルワーカー役となり模擬面接をしましたが、患者役ソーシャルワーカーに一生懸命言葉をかける学生さんの姿が印象的でした。

参加後のアンケートより「ソーシャルワーカーはいろんな職種と密接に関わっていることがよくわかりました」「他の職種に興味があったが、ソーシャルワーカーもいいなと思いました」「自分ではあまり良い面接ができなかったけど他の人の面接を見てとても勉強になりました」等との回答があり、参加された学生さんにとって有意義な時間となりました。

参加の記念品として、当院よりソーシャルワーカーがモデルになった漫画本「いとしのタンバリン」を贈呈し、学生さんにより理解を深めてもらうことができたのではないかと思います。学生さんの熱心な姿に、私たちもとても良い刺激を受け、日ごろの業務にますます精進しなければならぬと再認識することができました。



# 緩和ケア研修会を開催して

専門職

鶴崎 裕介

7月15日（土）～16日（日）の2日間にわたり「大分医療センター緩和ケア研修会」が開催されました。この研修会は厚生労働省が平成19年にがん対策推進基本計画として「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得」することにより、「がん治療の初期段階から緩和ケアが提供されること」を目的として全国のがん診療拠点病院を中心に毎年行われているものです。当院でも大分県がん診療連携協力病院として平成22年より毎年行っています。なお、がん性疼痛緩和指導管理料やがん患者指導管理料などの施設基準において、この研修を修了した医師を配置することが条件となっています。

今年も厚生労働省が定める研修会の開催指針に沿って、外部講師6名、院内講師6名のご協力によりプログラムを組み、医師12名、看護師7名、薬剤師1名の方が受講されました。

2日間の研修会は講義・ワークショップ・ロールプレイで構成され、まず講義では緩和ケア概論に始まり疼痛・呼吸困難などの症状コントロールや精神症状、在宅医療に加え就労支援を組み込み、最新の知識が幅広く学べるようになっていきます。つぎに、グループワークでは多職種で事例検討を行い、患者さんとご家族を全人的にアセスメントし、必要な治療・ケアを導き出すチーム医療を学びます。さらに、ロールプレイでは医師役、患者役、観察者役になってのがん告知を行うなど、臨床でのコミュニケーション技術を考える機会にもなります。研修後のアンケートでは、「緩和ケアの全体像がつかめた。」「知識の整理に大変役に立った。」「がん患者のみならず、他の慢性疾患にも応用できる内容だと思った。」「患者の気持ちが分かる気がした。」などたくさんのお声をいただきました。次回もより充実した研修会となるよう検討していきます。受講生の皆様2日間大変お疲れ様でした。講師の先生方及びスタッフの皆様ご協力ありがとうございました。



# 津久見櫛の実少年少女合唱団 来院!

サマーコンサート

7月25日(火)に恒例の津久見櫛の実少年少女合唱団によるサマーコンサートを開催しました。入院患者さん達に「少しばかりの癒しの時間を…」と、例年楽しみの企画です。

今年も幼稚園児～高校生まで53名の子供たちによる、歌あり、踊りあり、時には患者さんと手と手を取り遊びながらの1時間でした。

名残惜しくも、最後は心ばかりの花束のお礼で幕となりました。

本当に暑い中、また夏休みの最中に毎年来ていただき、ありがとうございました。



## 津久見櫛の実少年少女合唱団のプロフィール

津久見櫛の実少年少女合唱団は、1979年、青少年健全育成を目的に津久見市により設立された合唱団で、今年で結成38年目を迎えました。

現在、3才から大学生まで、約100名の団員が、リーダーを中心に、毎週土・日、クラシックからポピュラーまで、たくさんの曲を楽しく歌っています。

主な演奏活動は、5月の定期演奏会、12月のほらほらコンサートを中心に、大分県内のイベントに出演するほか、病院、支援学校、特別養護老人ホーム等を訪問するなど、奉仕活動も積極的に行い、地域の皆様に愛される合唱団を目指しています。

## 暑気払い! in ビア・ガーデン

レクリエーション委員会

レク委員会では、今年度はいろいろな企画を計画中であります。企画第1弾として、夏、最盛期の8月3日(木)にトキハ本店屋上でビア・ガーデンを開催しました。急遽の募集でどれくらいの方に賛同いただけるか心配でしたが、59名の酒豪が集まり大いに盛り上がりました。穴井院長先生の乾杯の音頭で始まり、特設のステージでは生歌・生演奏もあり、いったい何百リットルの生ビールが消費されたことでしょうか。

次回第2弾も企画中です。今回参加できなかった方は、次に期待してください。



# 大分県臨床研修病院合同説明会 2017 に 参加しました

庶務班長 立川 秀一

平成 29 年 6 月 25 日の日曜日、全労済ソレイユの 7 階カトレアの間で大分県臨床研修病院合同説明会が開催されました。

当日は、配付する資料やブースに設置する資機材を公用車に積み込んで会場目指して出発しました。会場に着くと、県の担当者の方々が準備の真っ最中でした。こちらもすぐにブースの設営を始めました。そうしているうちに、院長、副院長、新関先生、河野先生や本日プレゼンテーションをしていただく渡辺先生が集まってきました。

プレゼンテーションは、「診フロ」の映像を流しながら渡辺先生が上手く映像に合わせながら病院の説明をされましたが、3分間という限られた時間で病院に

関心を持っていただくのにはかなり有効だったのではと思いました。

プレゼンテーション終了後、病院ブース別説明に移り、幸先良く 3 人の学生さんに来ていただき、その後少し間が空く時間帯もありましたが説明時間中は概ね学生さんが席に座っている状態で、参加者 42 名中 19 名がブースに足を運んでくれました。アンケートでは、説明で具体的な消化器のイメージがわかったという感想をいただきました。来年は、是非当院に研修医として来てもらいたいと思います。



## 大分医療センターのロゴマークについて

### 全体のコンセプト



Oita National Hospital (旧国立大分病院)の頭文字をロゴマークの形であらわしており、さらに「O」は病院の所在地である「大分市」及び「大在」の地名を示している。

これを、海・空・太陽・緑の大地を立体的に示す色合いで表現したものである。

- 「緑と赤」…昇る朝日と緑豊かな大分の地を表す。
- 「青」……大分医療センターのシンボルカラーを示し、私達医療従事者を表す。
- 「黒」……地域と大分医療センターを結ぶ架け橋を表す。

## 編集 後記

ついに、男子100メートルで日本人初の9秒台となる9秒98を桐生祥秀選手が出しました。桐生選手が10秒01を出したのは、高校生の時です。10秒を切るのは時間の問題と言われ続けて4年間も掛かっているんですね。その差0.03秒は長さにしてわずか30センチ。これを縮めるために4年とは、その努力には本当に頭が下がります。私も何か目標を持って、大分医療センターのために頑張ろうと思いました。とりあえず、明日から…。

余談ですが、元プロバスケット選手のマイケル・ジョーダンの足のサイズは31cmだそうです。

編集委員一同

## 編集委員

### 委員長

奈須 伸吉 (副院長)

### 委員

- 姉川 俊也 (事務部長)
- 高祖 英典 (副医局長)
- 竹之内須賀子 (副看護部長)
- 山本真由美 (教育担当師長)
- 高瀬 由香 (2階病棟副看護師長)
- 三宅 修二 (管理課長)
- 田辺 俊介 (経営企画室長)
- 生野 充章 (業務班長)
- 鶴崎 裕介 (専門職)
- 米丸 淳一 (給与係長)
- 岡江 晃児 (医療社会事業専門職)